

# 特別 講座

## TMU2020伝道講座 II

～「今」レガシー（遺産）を考える～

TOKYO 2020  
応援プログラム



今年度は平昌 2018 オリンピック・パラリンピック冬季競技大会です。その次は東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会が控えています。東アジアで大会が続きます。東京大会に向けて、オリンピック・パラリンピック両大会の原点を確認し、両大会は一体何のために開催されるのか、文化プログラムは一体何のために行われるのか、なぜ環境プログラムが重要なのか、ボランティアとして参加するためには、などオリンピック・パラリンピックの基本的な知識を知ってみませんか。そしてパラリンピアンと直接に語る機会を活かして、共生社会に向けた課題を探りましょう。

### オリンピズムとは： オリンピックの教育運動・平和運動

#### 講座コード【1731Z003】

第1回：10月16日（月）18:00～20:00

受講料：無料（1回） 定員：50名

場所：飯田橋キャンパス

まず始めに、オリンピック・パラリンピック大会の根本概念であるオリンピズムやオリンピック・ムーブメント、さらには、オリンピックとパラリンピックの価値、あるいは、これまで積み上げてきたレガシー（遺産）等を振り返ってみましょう。そして、「スポーツ・文化・環境」という「オリンピズムの3本柱(\*)」を踏まえて、2020年東京大会東京 2020大会に向けて、私たちは一体何ができるのか。

オリンピック文化プログラム、環境プログラム、ボランティア、国際交流、平和運動、教育活動など、様々な関わり方を考えてみましょう。

(\*) このオリンピズムの3本柱についてはほとんど知られていません。1964年東京大会では文化プログラムではなく、芸術展示でした。

### 文化プログラムは何のために： 心身の調和か盛り上げか？

#### 講座コード【1731Z004】

第2回：10月30日（月）18:00～20:00

受講料：無料（1回） 定員：50名

場所：飯田橋キャンパス

IOCのオリンピック憲章に定められているように、オリンピックは、スポーツと文化を通して、心身ともに調和のとれた若者を育て、平和な世界の構築に寄与しようとする教育運動であり平和運動なのです。

これをオリンピズムと呼びます。このため、オリンピックは競技だけでなく芸術も競技されたり、展示されたりしてきた歴史があります。現在では開催国の文化一般の紹介も含めた文化プログラムと変わってきています。

では、これまで芸術競技や芸術展示、あるいは文化プログラムはどのように行われてきたのでしょうか。

開会式・閉会式を盛り上げるためのもののでしょうか？ これらを振り返り、そこから東京 2020大会の文化プログラムの在り方を皆さんと一緒に構想してみましょう。

#### 【講師】 舩本 直文 首都大学東京特任教授

(ますもと なおふみ)

(担当 第1回、第2回、第3回)



## お申し込み方法

電話、FAX、インターネット、  
首都大学東京オープンユニバーシティ窓口  
(飯田橋キャンパス：平日 9時～17時30分)  
会員でなくてもお申込みいただけます。  
お申込みは各回ごとに必要となります。

- ※申込みの受付は先着順となります。予めご了承ください。
- ※申込みは受講者個人ごとに受付けます。人数だけの複数申込みはできません。
- ※申込み時に、受講を希望する講座の講座コード(複数申込み可)を、明示してください。
- ※各回、開講2週間前に「受講のご案内」のハガキを送付します。当日は、「受講のご案内」をご持参ください。
- ※ご住所を勤務先にされる方は、「会社名・部署名」を明示してください。(「受講のご案内」が届かない場合がございます)

お問い合わせ TEL:03-3288-1050

# 特別 講座

## TMU2020伝道講座 II

～「今」レガシー（遺産）を考える～

TOKYO 2020  
応援プログラム



### ボランティア：どんな仕事？どのように準備？

講座コード【1731Z005】

第3回：11月6日（月）18:00～20:00

受講料：無料（1回） 定員：50名

場所：飯田橋キャンパス

オリンピック・パラリンピック両大会を支えるボランティアの数は10万人以上もいます。

通常大会の2年前から公式のボランティア募集が始まりますが、それまでには一体どうしたらよいのでしょうか？さらに、一体どのような仕事内容があるのでしょうか？どうすればボランティアとして参加できるのか、その準備はどうしたらよいのでしょうか？これまでのオリンピック大会やユースオリンピック大会に関わってきた講師によって、ボランティアにお世話になった立場から今までの経験を元に、東京2020大会に向けたボランティアへの準備などについて考えてみましょう。

【講師】 舩本 直文 首都大学東京特任教授  
(ますもと なおふみ)

### 環境プログラム：どのような課題が？

講座コード【1731Z006】

第4回：11月20日（月）18:00～20:00

受講料：無料（1回） 定員：50名

場所：飯田橋キャンパス

オリンピズムの3本柱に「環境」があります。最近「サステナビリティ=持続可能な社会」という枠の中で取り組まれている「環境プログラム」ですが、これまでIOCはこれまでどのような取り組みをしてきたのでしょうか？IOCは国連とはどのような協調活動をしているのでしょうか？各大会の組織委員会はどのようなことに取り組んできたのでしょうか？現在、東京2020大会の組織委員会はどのようなことに取り組んでいて、課題は何なのでしょうか？このようなことを一緒に考えてみましょう。

【講師】 大津 克哉 東海大学准教授  
(おおつ かつや)  
※ファシリテーター 舩本 直文



### パラリンピアンと語ろう：共生社会に向けて

講座コード【1731Z007】

第5回：11月27日（月）18:00～20:00

受講料：無料（1回） 定員：50名

場所：飯田橋キャンパス

パラリンピアンとして2004年のアテネ大会から3大会連続で射撃（ライフル）に出場し、7位入賞（2010年アジアパラ大会で3位銅メダル獲得）した選手ご自身から、パラリンピック大会の話を聞いてみませんか。田口さんは、2020年大会に向けて招致段階から関わり、現在はアスリート委員や、エンブレム選考委員、マスコット審査委員など、多くのテーマに関わりながらパラリンピック・ムーブメントを展開されています。

ご本人の実体験に基づいたお話から、Beyond 2020が目指す「共生社会」に向けたレガシーや、そのための課題などについて語り合ってみましょう。

【講師】 田口 亜希 パラリンピアン  
(たぐち あき)  
※ファシリテーター 舩本 直文



### パラリンピック・ムーブメントとは？

講座コード【1731Z008】

第6回：12月5日（火）18:00～20:00

受講料：無料（1回） 定員：50名

場所：飯田橋キャンパス

パラリンピックはこれまでどのような歴史を辿ってきたのでしょうか？「パラリンピックの父」と呼ばれるルートヴィッヒ・グッドマン氏や「日本のパラリンピックの父」と称される中村裕医師の活動は、一体どのようなものだったのでしょうか？パラリンピックのシンボルマークの変遷や意味、「パラリンピック」という名称なども含め、パラリンピック・ムーブメントの基本的な内容を理解してみませんか？そして、東京2020大会に向けた課題を確認してみましょう。

【講師】 田中 暢子 桐蔭横浜大学准教授  
(たなか のぶこ)  
※ファシリテーター 舩本 直文



## お申し込み方法

電話、FAX、インターネット、  
首都大学東京オープンユニバーシティ窓口  
(飯田橋キャンパス：平日9時～17時30分)  
会員でなくてもお申込みいただけます。  
お申込みは各回ごとに必要となります。

- ※申込みの受付は先着順となります。予めご了承ください。
- ※申込みは受講者個人ごとに受付けます。人数だけの複数申込みはできません。
- ※申込み時に、受講を希望する講座の講座コード(複数申込み可)を、明示してください。
- ※各回、開講2週間前に「受講のご案内」のハガキを送付します。当日は、「受講のご案内」をご持参ください。
- ※ご住所を勤務先にされる方は、「会社名・部署名」を明示してください。(「受講のご案内」が届かない場合がございます)

※講師の都合その他の理由により、上記の講義日程は変更される可能性があります。  
※お申込みに関しては、「お申し込み方法のご案内」「受講にあたって」をご覧ください。